＜行事等について＞

・11月　7日（土）・・・運動会（幼児クラス）となります。詳細については配信している手紙をご確認ください。

・11月20日（金）～22日（日）・・・調理室の塗床工事となります。工程とお願いは配信した手紙をご確認ください。

＜ 歩くことの大切さ ～散歩で育つ力～ ＞

現代は車での移動が増えたり、様々な事が制限されている公園やゲームやスマホなどの電子機器で遊ぶ子どもが多くなったりと歩くことや体を動かす機会が少なくなっています。その結果、体力の低下や肥満傾向になる子どもが増えているといわれています。

こども園で園外散歩を取り入れるねらいとして『園内で触れることのできないものがある野原や公園で自然に触れ、のびのびと身体を動かして遊ぶことを楽しむとともに、社会や交通ルールについて知ることや周囲への関心を育て、それらに対する豊かな心情を培う。そして外気に触れながら歩行することにより、子どもの基礎体力をつけていく』としています。

体力がない、土踏まずができていない、足の力がないと運動嫌いや怪我をしやすいということにも繋がります。

散歩や歩くことで育つことは・・・



□基礎体力や運動機能の向上につながる

□土踏まずの形成や足指の力がつく

□足への刺激は脳の神経細胞を活発にし、自律神経のバランスも良くなり、集中力ややる気が高まる

□散歩の中で五感を使い、会話をすることでコミュニケーション力や言語機能が高まる

子どもたちの『歩く力』は、日々の小さないろいろな場面での積み重ねにより育っていきます。

幼児クラスでは朝夕の自由遊びの時間に追いかけっこや鬼ごっこを楽しむ姿が多いです。子どもたちの好きな遊びの一つです。昔から伝承されている鬼ごっこは保護者の方も子どもの頃に一度は遊んだことがあるのではないでしょうか。鬼ごっこを通して育つ力は・・・

『全力で走る力』…走るのが苦手な子どもも逃げる、追いかけるという目的ができ、追いかけっこや鬼ごっこになると楽しく思い切り　走れます。

『体の動きをコントロールする力』…鬼から逃げる為に走る方向を変えたり、走る速さを調整したりする。また倒れないようバランスをとったり、転ばないように踏ん張ったりといろいろな箇所の力を使います。

『予測したり、考えたりする力』…自分以外の人の動きを予測したり、観察したりといろいろな思考や判断を繰り返し行います。

『仲間意識が膨らみ協調する力』…友だちと一緒に話し合ってルールを決めることができたり、人数や年齢でいろいろなバリエーションの鬼ごっこができたりしてその中で役割もできる。遊びの中で様々なコミュニケーションや関りを持てます。



＜ 読書週間 ＞

今年は第80回の読書週間です。10月27日から11月9日までの2週間が読書週間となっています。

『読書の秋』と言われるようになったのは、秋になると日が暮れるのが早くなり、夜が長くなることから落ち着いて本を読む時間が増えるためといわれています。また、その由来は中国の詩人の詩の言葉にあるとされています。

少しの時間でも大好きなお父さんやお母さんに絵本を読んでもらうことは、子どもたちの心に残ります。秋の夜長に　お子さんと一緒にお気に入りの絵本を楽しんでみてはいかがでしょうか。

絵本の読み聞かせの効果として下記のようなことがあります。

□大人（親や保育士）と子どもが絵本を通して気持ちを共有したり、共感したりすることで愛着関係が育まれ、子どもの安心できる時間になる。

□大人が自分のために読んでくれているという「幸福感」を満喫できたり、読み手も緊張や不安の抑制になったりとリラックス効果がある。

□子どもの好奇心のきっかけ作り、友達との関わり作り、優しさ、悲しさ、色や物の美しさ、言葉のおもしろさなどに気づくことができ、感性や創造力が豊かになる。

